

平成 30 年度日本音楽教育学会東海地区例会
2019 年 3 月 24 日（日）13:00～17:10 @愛知教育大学音楽棟
* 会員でない方も参加できます。参加費は無料です。

プログラム（全体進行：新山王政和）

開会・諸連絡（13:00～13:05）南 曜子

第 1 部（13:05～15:05）修士研究報告：質疑応答も含めて一人 15 分（司会：國府華子）

◇平賀真司：会員

（愛知教育大学教職大学院教育実践研究科教職実践専攻：名古屋市立山田小学校）

[M1 中間報告] みんなと一緒に「伸びゆく力」を実感できる音楽科授業

— ユニバーサルデザインを取り入れた交流及び共同学習を出発点にして —

◇小野志織：会員（愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻音楽科教育学領域）

[M1 中間報告] 小学生と中学生の間に生じる「合わせること」の違いに関する調査研究

— 抽象的意識から具体的意識への変化を中心として —

◇浅田龍之介：会員（愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻音楽科教育学領域）

学校教育現場における合唱指導者がもつべき専門性とその育成

— アンケート調査及び現地調査に基づいて —

◇戸田南帆：会員（愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻音楽科教育学領域）

教育現場における日常的な音楽利用の実態と必要性の検討

— 音環境及び音楽科教育の観点から —

◇須賀 望：会員（愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻音楽科教育学領域）

小学校音楽科における「共通教材」の位置づけと指導法に関する一考察

— 文部科学省学習指導要領に沿った教材性の再考を中心として —

◇藤井愛子：会員（愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻音楽科内容学領域）

経験創作を核とした音楽科授業の提案

◇中村華子（静岡大学大学院教育学研究科学校教育研究専攻音楽教育専修）

音楽科授業における変奏曲の有効性

◇名塚美喜：会員

(愛知教育大学教職大学院教育実践研究科教職実践専攻：美浜町立野間中学校)
音と音楽の価値を理解し、生活の中の音とのつながりを深める音楽科授業開発
— 資質・能力の明確化とモジュール学習・ルーブリック評価を例に —

◇平田 嘉之：会員 (名古屋芸術大学大学院人間発達学研究科)

幼児期前期の「つくり歌」における音楽的発達
— 環境からの影響と音楽的特徴の視点から —

— 休憩 (15:30~15:45) 会場移動 —

第2部 (15:45~17:00) 「武本京子:イメージ奏法」のデモンストレーション

◇解説：武本京子

◇演奏者：市橋奈々・近藤有紀乃・佐野美咲

武本京子氏による「イメージ奏法」の解説に続いて、大学院生による映像付き演奏をしながら「イメージ奏法」のデモンストレーションを行ない、質疑応答でまとめます。

○市橋奈々「ショパン：バラード第4番 へ短調 作品52」

○近藤有紀乃「ブラームス：ピアノソナタ第3番 op.5 へ短調 第1楽章」

○佐野美咲「リスト：『伝説』より第2番 波を渡るパオラの聖フランチェスコ」

報告・閉会 (17:00~17:10) 北山敦康

@愛知教育大学音楽棟 (愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1)

*無料で駐車が可能です。便利な自家用車でお越しください。

名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバス約20分 「愛知教育大前」下車

名鉄豊田線「日進駅」からバス約25分 「愛知教育大前」下車

JR東海道本線「刈谷駅」北口からバス約35分 「愛知教育大前」下車

[お問い合わせ] mshinza@aecc.aichi-edu.ac.jp (新山王)